



平成 19 年 10 月 9 日

各 位

会 社 名 株式会社イーエムシステムズ  
代 表 者 名 代表取締役社長 國光 浩三  
(コード番号 4820 東証 第二部)  
問 合 せ 先 執行役員管理本部長 中尾 光宏  
(T E L 06 - 6397 - 1888)

### 処方情報に基づく症候群サーベイランスシステムの構築に関する共同研究の実施

当社は、このたび国立感染症研究所と「処方情報に基づく症候群サーベイランスシステム」の構築に関する研究を共同で実施することになりました。

当社が運用しているデータセンターのサーバーに蓄積された処方情報から一切の個人情報を取り除き、解熱鎮痛剤や総合感冒薬など症状を推測する薬剤に該当する処方箋枚数を集計し、統計学的な解析を行うことで地域の感染症流行探知に役立てるシステムを構築してまいります。

### 記

#### 【背景】

外来受診時の電子カルテに基づいた症候群サーベイランスシステムは、その構築が進められていますが、電子カルテの普及率の伸び悩みや医療機関ごとに個別に開発をしなければならぬ点が障害となっております。

しかしながら、当社のデータセンターのサーバーに蓄積された院外処方における処方情報を活用することにより症候群サーベイランスシステムを実施できれば、患者の発生動向について医療機関を横断的に把握でき、安価で効率的に目的を達成することができると期待されております。

本共同研究は、その可能性を検討し、症候群サーベイランスシステムの柱の一つとして処方情報に基づく症候群サーベイランスシステムを構築するための基礎的研究を行います。

#### 【研究概要】

今回の研究に協力頂く調剤薬局の個人情報を除いた薬剤の処方情報から症状を推測するアルゴリズムを開発し、該当する薬剤の検索をした上で、統計学的な解析を行い、異常な患者数の増加が検知されるかどうかを判断する統計学的アルゴリズムを開発し、一連の作業を自動化するシステムを構築します。

また、それらの情報を調剤薬局に還元するシステムを構築の上、調剤薬局において運用に関する実証実験を行います。

#### 【共同研究の売上高等への影響】

共同研究に際し発生する費用は軽微であり、業績予想に変更はありません。

以 上